

令和7年度 第79回県総体 用具点検について (案)

1. 点検は、当該審判員4名と会場担当者1名で行うことを原則とする。
2. 不良用具については、試合での使用を認めず、当該試合中、本部席にて預かる。
3. 点検は、試合前のシートノック時に、先攻側のチームから、ダッグアウト前で行う。
4. 主な点検用具は、バット、ヘルメット、スパイク、捕手の装具、グラブとする。
5. 「バット」について
 - ① ひび、へこみ、亀裂はないか。
 - ② 木製バット以外のグリップ部分は、市販のグリップテープで留めてあるか。
 - ③ グリップテープやエンドテープのはがれはないか。
※ エンドテープはなくてよいが、テープ類がはがれていないか確認する
 - ④ 金属バットについては、JSBB マークがついているか。 ※ JSBB がついていればOK
 - ⑤ 樹脂を使用するバット（ミズノ：ビヨンドマックス、アシックス：テックエースなど）については、打球が変化する程の亀裂や削れはないか。（参考：長さ8mm以上の亀裂は×）
 - ⑥ ノック用バットは、試合中はベンチ外へ出すように依頼する。
 - ⑦ バットリングやマスコットバットは持ち込めない。
6. 「ヘルメット」について
 - ① 両側にイヤーフラップがついているか。
※ フェイスガードは、SG マークがついているものは使用可
 - ② 内側の保護パッドがついているか。また、固定されているか。
 - ③ ひびが入っていないか。
 - ④ チームとして、色やデザインが統一されているか。
7. 「スパイク」について
 - ① 皮革部に靴下などが見えるような破損はないか。
 - ② ひもが切れていないか。
 - ③ 金属部分のネジが固定されているか。
 - ④ 色は黒 or 白を基調とするものであるか。 ※2024年度から、色が混在していてもよい
 - ⑤ P革の釘が出ていないか。
8. 「捕手の装具」について
 - ① マスクには、スロートガードが装着されているか。
※ ただし、スロートガード一体型のマスクは装着不要。
 - ② マスクにひびはないか。また、保護パッドがついているか。
 - ③ マスク、レガースに亀裂や破損はないか。
※ 予備捕手の装具についても同様に点検を行う。
 - ④ ヘルメットは、帽子の色と同じであるか。
 - ⑤ ファウルカップは着用されているか。 ※ 用具点検時に着用すること
 - ⑥ マスク、レガース、プロテクターは、JSBB 公認の物であるか。
(※ただし、マークがはがれている可能性があるため、安全性を優先する。)
9. 「グラブ」について
 - 【投手】
 - ① グラブの色は、縁取り・縫い糸を除き白色・灰色以外のものであるか。
 - ② グラブの色は、PANTONEの色基準14番より薄い色のものになっていないか。
 - ③ 縁取り、しめひもを除く本体（捕球面・背面・網（ウェブ））の色は1色であるか。
 - 【捕手や野手】
縫じ紐は結んであるか。また、親指程度の長さであるか。（捕手や野手のグラブの色に制限はない）
10. 点検後の補修が可能であれば、補修後に再度点検を行い、良ければ使用を認める。
 - 10.1. 審判部は不良用具について選手登録用紙の裏に記録し、翌日以降に引き継ぐようにする。
 - 10.2. 試合終了後、審判部は不良用具を当該チームに返却する。